



東京都港区海岸一丁目2番20号
汐留ビルディング3階
株式会社LTTバイオフーマ

News & Information

2018/4/13

〔ノーベルファーマ株式会社との共同開発基本契約締結のお知らせ〕

当社はこれまで行ってきた当社単独による医薬品開発の推進に加え、卓越した技術やパイプラインを持つ企業と連携し医薬品開発を行うことを検討してきました。今般、その最初の案件としてノーベルファーマ株式会社（以下ノーベルファーマ社）と、既存医薬品の適応拡大（ドラッグ・リポジショニング（DR））の研究開発を共同で行う契約を2018年3月付で締結しましたのでお知らせいたします。

記

1. 共同研究開発契約の概要

(1) 経緯

当社は創業以来、ドラッグデリバリーシステム（DDS）やDRなどの先端技術を用いて、画期的な医薬品を患者様に届けることを目的に研究開発を行って参りました。その結果、多くのパイプラインを創製するなどの成果をあげてきました。一方、医薬品業界において医薬品開発の成功確率は低下する一方であり、企業同士のお互いの強みを活かした事業提携やリスクシェアはより重要になっております。そこで当社は一昨年から卓越した技術やパイプラインを持つ企業と連携し共同で医薬品開発を行うことを検討してきました。

ノーベルファーマ社はその高い開発力により、抜群の成功確率で数多くの医薬品・医療機器を上市してきました。同社は臨床開発、承認申請、販売に特化しており、研究開発型企業である当社との連携は高いシナジー効果を産むと考え事業提携交渉を重ねてきました。その結果、共同開発の諸条件で合意に至り共同開発基本契約を締結しましたのでお知らせします。

(2) 契約内容

ノーベルファーマ社と当社は下記の概要で医薬品開発（臨床試験）を共同で行い、得られた利益を分配する。

開発効能： 神経領域

期間： 2018年3月～販売終了時

経済条件： 本開発に必要な研究開発費及び人的資源の一部を当社が負担し、その対価として利益を分配する。

2. 本共同研究開発の当社におけるメリット

- ① DRによる医薬品開発なので、当社のノウハウを活かすことができる。
- ② 承認取得経験が豊富であり、販売体制を構築しているノーベルファーマ社との共同開発なので、臨床試験で効果を確認出来れば、承認・販売まで大きな障壁がないとみている。
- ③ 高い医薬品開発力を誇るノーベルファーマ社との共同開発により、ノウハウの蓄積が期待できる。
- ④ 両社の事業モデルを合わせると研究から販売までの一貫した体制ができる。そのため、本共同開発をきっかけに連携が進めば、大きなシナジー効果が期待できる。

3. ノーベルファーマ社の概要

社名： ノーベルファーマ株式会社
本社所在地： 東京都中央区日本橋小舟町 12 番 10 号
代表者： 代表取締役社長 塩村 仁
HP： <https://www.nobelpharma.co.jp/>

当社との関係： 本共同研究開発以外には特段の関係はありません。

4. 今後の見通し

上述の理由により、当社の成長において本提携がもたらす効果は大きいと考えています。今後、本件について進展がありましたらお知らせいたします。

以上